

**全国県人会東海地区連絡協議会
九州沖縄ブロック交流会開催**

去る十一月十四日(土)に名古屋市大須のローズコートホテルで全国県人会東海地区連絡協議会に加盟する九州沖縄ブロックの交流会が開催されました。

今回は沖縄県人会が幹事県ということもあり、琉球舞踊 沖縄民謡ショー、エイサーと趣向を凝らし、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島県の代表者の皆様と楽しいひとときを過ごしました。



中京佐賀県人会 榎原ユクヨ会長

主催者挨拶では、沖縄県人会の仲宗根会長から「日頃から、皆様にはお声を掛けて頂きありがとうございます、たく感じています、本日もこのように沢山の皆様にお越しいただき誠にありがとうございました。」と挨拶。

乾杯の音頭では佐賀県人会の榎原ユクヨ会長が「沖縄さんが入ってくれて、再度オール九州が固まりました」と歓迎の意向を示され、オール九州の重要性を説明頂きました。

琉球舞踊では、豊田沖縄民謡同好会が紅羽衣装も鮮やかな「四竹」と「秋の踊り」を披露、民謡ショーでは副会長の上運天さんや理事会会長の山田さん、港川民謡研究所の尾関さん、エイサーは愛知エイサー協議会のメンバーが駆け付けて出演、最後のクイチャーでは松川智雄さんも飛び入りで弾いて頂き、九州のみさんも一緒に参加者全員が輪になって踊って頂きました。

中締め挨拶では、次期幹事県である中京福岡県人会の野見山会長から「フチナー口の「いっぺー」にふえーでーびる」と沖縄県人会の労を労っていただくとともに来年の開催でも皆様の協力をお願いしたいと挨拶され幕を閉じました。お帰りの際には、小山秀樹、初子さんご夫妻が前日に揚げて袋詰めにして頂いた、サーターアランダギを配り、皆さんの笑顔を見ることができ大変喜んで頂きました。

「協力頂いた皆さんに心より感謝申し上げます。」

N・N

**絆と団結力を深めた
海風エイサー佐久島合宿**

平成二十七年十月二四、二五日。

海風エイサーは初のイベント合宿を行いました。過去にも泊りがけの遠征はありますが行楽を兼ねての合宿は初めてです。

向かうは三河湾佐久島。三月に岡崎の和太鼓四〇団体が集まるイベントがあり、海風エイサーも参加させていただいておりますが、その中から毎年一〇団体程が佐久島に渡り、島の団体と和太鼓フラスを通して交流を深めています。

その中に、今回は海風エイサーも参加させていただくことになりました。メンバーからせうかく行くなら釣りをしたいとの要望があり二四日はメンバー全員朝早く島に渡り釣りに没頭して一喜一憂。その夜は出演団体の親睦と顔合わせを兼ねて浜辺のBBQの大会。

各団体が一曲ずつ披露するという事で海風エイサーも新曲を披露してつづがなく終わるはずだったのですが終盤でナント思わぬサプライズが。

途中姿を消していた2人がチョンダラーに扮して現れ「広子さんに感謝を込めて」と心のこもったナレーションと、いつの間にか振り付けたのが「シンカヌチャ」の曲でジュニアメンバーの縮太鼓を中心に太太鼓の海風メンバーが



花束を受け取り嬉しさ一杯の仲宗根広子さん

一斉に演舞を始めたのです。

そして私はステージ中央に促されて海風メンバー全員から大きな花束が渡され、会場からは「良かったね おめでとう」の声と涙と大拍手が沸き起りました。

最後は和太鼓団体も慣れないカチャーシーに参加してくれて心はひとつに。感動に涙々の前夜祭でした。思えば少し前、「海風エイサーは、一〇周年だけでもできないな」とボツリと言った私の一言でメンバーは皆で話し合うと和太鼓団体に交渉し根回しをしたようです。

そしてさらにハプニングが。ジュニアメンバーの一人がイベント開催の二五日、部活の試合に出場しなければならず母親(メンバー)が朝イチ五時のチャーター船で一色港に行き学校に送り届けるという事態が。すぐ戻って来てても出演時間にギリギリ間に合うかどうか。それを聞いた他のメンバーの両親が連携プレーで仕事前に一色港で待ち、弁当まで作って自転車共々学校へ送り届けてくれたので母親はそのまま折り返して島に戻って来る事ができ、無事佐久島和太鼓祭りに参加することができました。

鳥の皆さんは大変喜んで下さいました。

往復の荷物はハンパ無く多いけど皆からいただいた愛情の花束は肌身離さず大切に抱いて持ち帰り、その後三週間味き続けて心を温か

**私の戦争体験④ 渡久地政子
「少女の見た沖縄戦」**

昨年は太平洋戦争が終結して七〇年目の節目の年でした。

悲惨な沖縄戦を忘れないようにすることが、我々、沖縄に関係する者の役目かなと思いい、沖縄戦を体験された渡久地政子さん(享年七十五歳・豊田市在住)に、当時の様子を想い浮かべながら文章にして頂きましたので、4回に渡って連載致します。

今回はその最終回です。

政子さんが何を伝えて、何を感得て欲しいのかを考えて一読して下さい。

胸に刻まれた場面

戦争も終わりに近いその頃、私はある場面に外出くわす。大人はいなくて留守番の近くの子たちだけで土手の上で食べ物でも探していたか。下の道を通行している父娘の見慣れない服に興味津々で見ている。

木の陰から二人の日本兵が出てきて父娘をとめ、何やら声をかけ、事件は起きた。

日が暮れて年高の子が大人たちに報告し、事件の内容が私にも理解できた。

米軍から支給された服を着た父娘を「天皇陛下に申し訳ないのか」と東に向かっ膝立ちさせ刀で首を切り落としたのだ。

翌日、現場を見てきた大人の話では、道から少し脇の所まで引張って行って、お腹のあたり土をかけたただけでも首も突き出たままだったという。大人たちはしばらくこの話で持ちきりだった。

それを見たのは誰と誰と問われて、その子は、私の名前も伝えていたから、私も確かにそこに居たはずだ。

けれど何が起きていたのか理解していなかった。まわりの人の話を聞き、胸に刻まれて行つた。この戦争のことを考える時、私の原点になる場面だ。

米兵と戦争の終わり

そしてその日は来た。小屋の上の方からやってくる米軍の気配を感じて、私たちは逃げた。竹やぶの中で雨にぬれながら日が暮れるまで立っていた。

弟もよく泣き声をたてなかつたと思慮に思つた。

小屋に戻り疲れ果て、みんな眠りこんで、心配にきついた時は、大勢の米軍に取り囲まれていた。

おじいさんは暗いうちに出かけていた、どのアメリカ(米兵)も銃を肩にかけていたが、銃撃する様子ではなかった。

「ミンナテキナサイ」母に「パパサンド」

隅の丸太の上に板を乗せ、置いてあった位牌を外へ出すように手でしめして、母がその通りになって、全員が外へ出たことを確かめると、小屋にガソリンをかけ火を点けた。

一粒も食べることが出来なかつた稲もちもも燃えあがった。跡形もなくなつた小屋を見届けると、ウンマー(おばあさん)を何人かで取り囲み、どこか連れて行つた。年寄りで役に立たないといまっ先に殺されると、母は観念したそう。

こうして私たちは川添いに、まず伊地の村に、それから辺土名に集められ(そこになんとウンマーがいた。ジーブというものに乗せられ、一足早く着いていた)やがて喜如嘉の収容所に連れて行かれた。

そこはすでに人がいっぱい。まわりは金網がはりめぐされていた。

こうして私たちの戦争は終わり、戦後の一歩はここから始まった。

終わり

愛知沖縄県人会連合会 賛助会員募集中 ここから →

◇沖縄イベント情報◇

★2016年 3月6日(日) 13:00開場 開演13:30
宮古民謡保存会名古屋支部 15周年記念公演 開催決定
宮古(みや〜く)ぬあやぐ〜〜〜(あ〜ぐ)ぬ唄道(うたむつ)〜
会場 名古屋市芸術創造センター大ホール
名古屋市東区葵 1-3-27 052-931-1811
前売り 2500円 当日3000円
お問合せ 052-383-6187 松川まで

★2016年 3月20日(日) 11:00受付 11:30開始
愛知沖縄県人会連合会 主催 2016年 島くとつば ゆんたく会&敬老会
場所 コープあいち 本山生活文化会館 4Fホール
名古屋市千種区稲舟通 1-39
☎ 052-781-6162 地下鉄東山線本山駅下車4番出口徒歩2分
会費 男性3000円 女性2500円 賛助会員は500円引き
中学生以下無料 お問合せ 090-3423-6865 辺土名まで

協賛広告の募集
愛知沖縄県人会連合会では2016年4月からの協賛広告の募集を行います。ご協力頂ける企業、団体さんは下記までお問い合わせください。
080-5168-5422 仲宗根まで

愛知琉球エイサー太鼓連
会長 奥間 貴祐記
E-mail taikoren_8131@yahoo.co.jp
URL http://www.geocities.jp/eisa_taikoren
「愛知エイサー」で検索! メンバー大募集中!

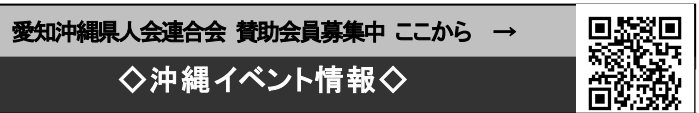
屋嘉比三線屋
三線販売・修理・製作・教室
(052) 701-1107
名古屋市名東区新宿 2-17
HP sanshin.bo.jp

沖縄居酒屋 **ゆいゆい**
大城節子
〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目8番27号
栄ビル1F1F 栄ビル1F1F
栄ビル1F1F 栄ビル1F1F
TEL 052-263-5663
http://yuyui.kidane.com

東筋秀盛・みずえ民謡研究所
(会員募集中・初心者歓迎)
〒481-0006
愛知県北名古屋市熊之庄射矢重103番地
TEL 0568-24-2533・24-2547
Eメール mizue.9.11nifaiy@yahoo.ne.jp

沖縄家庭料理 **世界報** 林久江
〒473-0912 豊田市広田町広田512
TEL0565-52-4727 携帯090-7681-9387
TEL 052) 253-6190
営業時間 17:00-24:00
定休日 日曜日・第3月曜日

琉球民謡保存会・東海支部
山田文門民謡研究所
教師 **山田 文門**
〒460-0012 名古屋市千種区千代田3丁目14-1
TEL (052) 253-6190
携帯 090-1414-9905



故 渡久地政子さん 享年 75 歳

政子さんからの最後の手紙
最後の原稿をお送りします。チャンスを与えて下さつてありがとうございました。

かなりあぶなくなつてきた頭が混乱しないうちに、一度は思い出し書いてみようと思つてはいたのです。

こんな機会がなければ思っているだけで書けなかつたでしょうね。

それにして長い、削れるところはいくらでもありますが、紙面の都合も考え、あとはおまかせします。

お役に立てればうれしいのですが…。

モモト
2016年1月号と紹介紙面
http://momotolog.wix.com/momoto

琉球・沖縄の時代と世代をつなぐ
知的好奇心マガジン「モモト」に
愛知沖縄県人会連合会 紹介

皆さんは、「モモト」という本をご存知でしょうか。私は今回の取材を受けて、その存在を初めて知りましたが、その紙面は沖縄の風景や人物を本当に美しく、そしてカッコ良く映し出しています。その写真と文章は、琉球、そして沖縄をよなく愛するスタッフの皆さんの気持ちが伝わってくるような内容です。

そんな「モモト」の2016年1月号に愛知沖縄県人会連合会が紹介されました。

昨年十一月に行われた運動会の模様を中心に、その歴史と活動内容を紹介していただきましたが、このような機会を与えて頂いた編集部の皆様は心より感謝申し上げますとともに、モモトの益々の発展とスタッフの皆様のご健康を祈念いたします。

皆さんも、ぜひ覗いてみてください。

くすくすしました。
佐久島合宿はメンバーとその家族も含め、海風の絆と団結力をさらに深め、確信し合った二日間でした。みんな、ありがとう。

海風エイサー 仲宗根 広子